

株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
配当基準日	毎年3月31日 そのほか必要があるときは、あらかじめ 公告して、基準日を定めることがあります。
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座 口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂7丁目10番11号 電話:0120-232-711 (通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所 大阪証券取引所
公告の方法	電子公告により行います。 公告掲載URL http://www.mitsumi.co.jp/ ただし、電子公告によることができない事故、そのほかのやむを得ない事由が生じたときには、日本経済新聞に公告いたします。
単元株式数	100株
証券コード	6767

株式に関するお手続きについて

証券会社等の口座に記録された株式

お手続き、ご照会等の内容	お問合せ先	
○郵送物等の発送と返戻に関するご照会 ○支払期間経過後の配当金に関するご照会 ○株式事務に関する一般的なお問合せ	株主名簿 管 理 人	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂7丁目10番11号 電話:0120-232-711 (通話料無料)
○上記以外のお手続き、ご照会等		口座を開設されている証券会社等にお問合せください。

特別口座に記録された株式

お手続き、ご照会等の内容	お問合せ先	
○特別口座から一般口座への振替請求 ○単元未満株式の買取請求 ○住所・氏名等のご変更 ○特別口座の残高照会 ○配当金の受領方法の指定*	特別口座 口座管理 機 関	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂7丁目10番11号 電話:0120-232-711 (通話料無料)
○郵送物等の発送と返戻に関するご照会 ○支払期間経過後の配当金に関するご照会 ○株式事務に関する一般的なお問合せ	株主名簿 管 理 人	[手続き書類のご請求方法] ○音声自動応答電話によるご請求 電話:0120-244-479 (通話料無料) ○インターネットによるダウンロード http://www.tr.mufg.jp/daikou/

*特別口座に記録された株式をご所有の株主様は、配当金の受領方法として株式数比例配分方式はお選びいただけません。

ホームページのご案内

当社ホームページでは、株主・投資家の皆様に対して、企業情報や財務情報をはじめとして、事業活動やその動向を紹介しております。当社をよりご理解いただくためにもWebサイトを是非ご活用ください。

<http://www.mitsumi.co.jp/>



▲ トップ画面



▲ 株主・投資家情報

 **ミツミ電機株式会社**

本社: 〒206-8567 東京都多摩市鶴牧2丁目11番地2
TEL: 042-310-5333 (大代表) FAX: 042-310-5168
URL <http://www.mitsumi.co.jp/>

 見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。

 ミックス
責任ある木質資源を
使用した紙
FSC® C013080

 VEGETABLE
OIL INK

挑戦、ミツミフロンティア

MITSUMI
<http://www.mitsumi.co.jp/>

第67期(2012年3月期) 報告書 | 2011年4月1日 ▶ 2012年3月31日

優位な製品の充実、成長市場への注力、新市場の創出を推進。事業の「選択と集中」により、業績の回復と企業価値の向上を目指してまいります。

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに、2012年3月期の連結業績ならびに配当につきましてご報告いたします。



代表取締役社長 森部 茂

当期の取り組みと成果

当連結会計年度における世界経済の情勢を概観いたしますと、自動車産業などの好調により米国の景気は緩やかな回復基調にありましたものの、新興国における経済成長のスピードが減速した上、欧州の金融危機による緊縮財政の影響により雇用環境が悪化した結果、世界経済全体における景気は停滞いたしました。

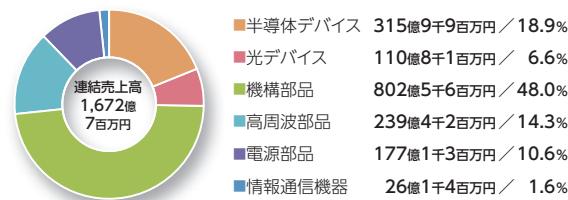
日本経済につきましては、東日本大震災からの復興需要による景気押し上げ効果は限定的にとどまり、世界経済の低迷や期中の円高進行、タイにおける洪水の影響による輸出企業の不振などにより景気は低迷いたしました。

当電子部品業界では、スマートフォンやタブレットなどの通信端末製品市場や車載関連製品市場は大幅に拡大いたしました。また、薄型TVやパソコン関連の市場が縮小いたしました。また、新興国向け製品の構成比率が上昇したことにより、部品の低価格化競争が一段と進行いたしました。

このような状況のもと、当社グループにおきましては、アミューズメント関連製品の受注は堅調に推移いたしましたものの、価格下落を数量増加で補えず売上高は減少いたしました。また、期中の円高進行や中国を中心とした生産拠点でのコスト上昇が収益改善効果を上回ったことから、収益面におきましても厳しい状況となりました。

その結果、当連結会計年度の売上高は1,672億7百万円（前期比89.2%）となりました。また、損益につきましては固定費削減を中心とした改善を進めてまいりましたが、営業損失は83億5千7百万円（前期の営業損失は

連結累計 製品別売上高構成比



50億2千万円)、経常損失は82億3千4百万円（前期の経常損失は63億8千7百万円）、当期純損失は固定資産の減損損失および退職金制度見直しによる加算金などを特別損失に計上いたしました結果、283億3千5百万円（前期の当期純損失は35億4千1百万円）となりました。

なお、配当につきましては、当期純損失を計上するに至り、誠に遺憾ながら無配とさせていただきます。

次期の見通し

世界経済の見通しは、米国における景気は回復基調にありますが、新興国では経済成長のスピードが鈍

化し、欧州の金融危機に端を発した経済危機により全体では不透明な状況であります。当電子部品業界におきましてはスマートフォンやタブレット端末などが引き続き市場を牽引し、車載・環境エネルギー関連製品の市場拡大が期待されております。このような事業環境下、当社グループにおきましては緊急施策の実施と成長戦略を進め、事業規模の拡大と収益力の改善を図ってまいります。

なお、2013年3月期の連結業績の見通しは、売上高1,800億円（前期比 107.7%）、営業利益20億円、経常利益15億円、当期純利益10億円、1株当たり5円の期末配当を目指してまいります。

連結決算ハイライト

当期連結業績	
売上高	1,672億7百万円
営業利益	△83億5千7百万円
経常利益	△82億3千4百万円
当期純利益	△283億3千5百万円

2013年3月期連結業績見通し	
売上高	1,800億円
営業利益	20億円
経常利益	15億円
当期純利益	10億円

上記の業績見通しにおける為替レートにつきましては、80円/ドルを想定しております。なお、現時点で入手可能な情報と最も合理的と判断される一定の前提に基づき算定しておりますが、実際の業績などの結果は見通しと大きく異なることがあります。

事業領域と事業拠点の「選択と集中」を実施し、さらに事業の再構築と全社組織の再編をすることにより、当社グループの収益力を高め、将来にわたる成長の実現を目指します。

当社は、当社グループの事業環境の変化と経営状態を鑑み、喫緊の収益力改善と2013年3月期以降の成長力回復を実現するため、緊急施策および成長に向けた戦略を策定いたしました。本施策の実施と成長戦略の取り組みにより継続的な企業価値の向上を実現してまいります。

直近の収益力改善施策

- ① 半導体デバイスおよび高周波部品事業を中心に減損を実施
- ② 退職金制度見直しによる固定費削減
- ③ 投資および一般経費の削減
- ④ 取締役の報酬一部返上および管理職の賃金カット

成長に向けた戦略

- ① 価値を生み出すことのできる成長領域を再度定め、人材を含めた経営資源を集中
- ② 各事業の再構築を行い、市場競争力を保有し、将来も価値を生み出すことのできる製品領域に経営資源を集中
- ③ フィリピン拠点の拡大ならびに中国拠点における生産品の見直しと再配分
- ④ 事業拠点の規模と機能の見直し、拠点の統合を実施
- ⑤ 海外で事業が完結する組織体制を段階的に構築
- ⑥ 海外市場で技術員が直接、販売促進活動を行う体制を構築
- ⑦ 事業本部を含めた全社組織の再編を行うと共に、新たな人材を登用

継続的な企業価値向上の実現

連結貸借対照表

(単位:百万円)

科目	当期末 2012年3月31日現在	前期末 2011年3月31日現在
資産の部		
流動資産	121,889	143,800
固定資産	30,771	48,026
有形固定資産	24,444	39,814
無形固定資産	913	1,883
投資その他の資産	5,413	6,328
資産合計	152,660	191,827
負債の部		
流動負債	41,859	50,243
固定負債	1,712	1,924
負債合計	43,572	52,167
純資産の部		
株主資本	125,128	155,214
資本金	39,890	39,890
資本剰余金	43,252	43,252
利益剰余金	42,077	72,162
自己株式	△ 91	△ 90
その他の包括利益累計額	△ 16,041	△ 15,554
その他有価証券評価差額金	6	6
為替換算調整勘定	△ 16,047	△ 15,560
純資産合計	109,087	139,659
負債純資産合計	152,660	191,827

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結株主資本等変動計算書

(単位:百万円)

当期中 2011年4月1日~2012年3月31日	株主資本					その他の包括利益累計額			純資産 合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定	その他の包括利益 累計額合計	
当期首残高	39,890	43,252	72,162	△ 90	155,214	6	△ 15,560	△ 15,554	139,659
当期変動額									
剰余金の配当			△ 1,749		△ 1,749				△ 1,749
当期純損失(△)			△ 28,335		△ 28,335				△ 28,335
自己株式の取得				△ 0	△ 0				△ 0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)						0	△ 486	△ 486	△ 486
当期変動額合計	—	—	△ 30,084	△ 0	△ 30,085	0	△ 486	△ 486	△ 30,571
当期末残高	39,890	43,252	42,077	△ 91	125,128	6	△ 16,047	△ 16,041	109,087

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結損益計算書

(単位:百万円)

科目	当期 2011年4月1日~ 2012年3月31日	前期 2010年4月1日~ 2011年3月31日
売上高	167,207	187,418
売上原価	164,244	179,976
売上総利益	2,963	7,441
営業損失(△)	△ 8,357	△ 5,020
経常損失(△)	△ 8,234	△ 6,387
税金等調整前当期純損失(△)	△ 25,818	△ 6,559
当期純損失(△)	△ 28,335	△ 3,541

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科目	当期 2011年4月1日~ 2012年3月31日	前期 2010年4月1日~ 2011年3月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー	22,488	5,457
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 7,062	△ 13,963
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,752	△ 3,062
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 131	△ 953
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	13,541	△ 12,521
現金及び現金同等物の期首残高	43,417	55,869
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	69
現金及び現金同等物の期末残高	56,959	43,417

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

世界初 IEEE1901規格対応 HD-PLC[®]モジュールを開発

あらゆる人やモノがつながるネットワーク社会の進化に伴い、家庭の電力線・同軸線などの既存設備が手軽に利用できるPLCが再注目されています。本製品は、国際規格IEEE1901にいち早く対応した組み込み用モジュールで、2012年夏より量産の開始を予定。小型で約1.3Wという低消費電力タイプでありながら、家電製品や産業機器、情報通信機器に対応し、ホームネットワークやスマートグリッドなど、多彩な機器の電力線間ネットワークを可能にします。

※HD-PLCはパナソニック（株）の商標または登録商標です。



新製品

DRT-J520
(IEEE1901規格対応 HD-PLCモジュール)

ウォッチドッグタイマ機能付きシステムリセットICを開発

本製品は、システムを監視し、異常を検知するとリセット信号によってシステムを自動復帰させ、暴走を防止するICです。ウォッチドッグタイマ監視時間とパワーオンリセット時間の比を選択することが可能な機能を有し、機器の外付け部品を削減します。また、ウォッチドッグタイマのON/OFF機能は低消費電力化に貢献するため、さまざまな電子機器への需要が見込まれております。本製品は、2011年11月より量産を開始しております。



新製品

MM3527シリーズ (広温度動作品)
MM3601シリーズ (通常品)
(ウォッチドッグタイマ機能付きシステムリセットIC)

会社の概要 (2012年3月31日現在)

商号	ミツミ電機株式会社
設立	1954年1月
本社	東京都多摩市鶴牧2丁目11番地2
営業所	東京、大阪、愛知、京都、兵庫、広島、福岡、台湾
事業所	神奈川、北海道、秋田、山形、福岡
資本金	398億9,025万794円
従業員数	単体 2,832名 連結 34,236名
事業内容	電子部品・デバイスの製造および販売

名誉会長 (2012年6月26日現在)

名誉会長 森部 一夫

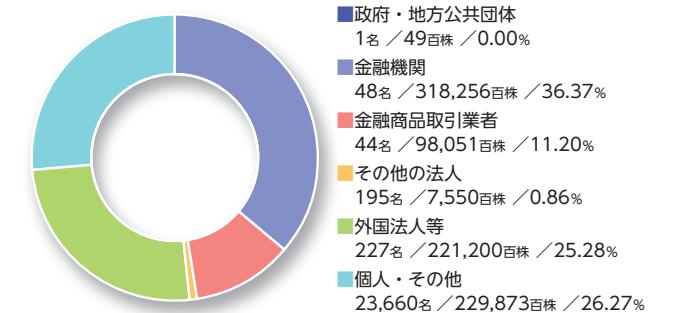
取締役・監査役 (2012年6月26日現在)

代表取締役社長	森部 茂
専務取締役	廣瀬 康雄
常務取締役 (昇任)	古川 富士夫
取締役	山田 恵
取締役	齋藤 求
取締役	麻生 博史
取締役	藤原 恵照
取締役 (新任)	瀬野 浩一
取締役 (新任)	濱井 英敏
常勤監査役 (社外)	新屋 憲二
常勤監査役 (社外)	(新任) 山田 誠
常勤監査役	野嶋 静海
監査役 (社外)	原 幸

株式の状況 (2012年3月31日現在)

発行可能株式の総数	200,000,000株
発行済株式の総数	87,498,119株
株主数	24,175名

所有者別株式分布図 (2012年3月31日現在)



(注) 当社は自己株式を45,652株保有しております。(百株未満切り捨て、小数点第3位以下切り捨て)

大株主 (2012年3月31日現在)

株主名	持株数(百株)	出資比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	113,443	12.97
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	73,762	8.43
JPモルガン証券株式会社	28,334	3.23
資産管理サービス信託銀行株式会社(証券投資信託口)	25,960	2.96
森部 昌子	24,771	2.83
みずほ証券株式会社	22,871	2.61
チェース マンハッタン バンク ジーティーエス クライアーツ アカウント エスクロウ	21,257	2.43
CBNY DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO	19,922	2.27
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	18,353	2.09
三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社	14,909	1.70

(注) 出資比率は自己株式を控除しております。また信託銀行の持株数には信託業務に係る株式数を含んでおります。

(百株未満切り捨て、小数点第3位以下切り捨て)